

令和2年度 学校自己評価表 (計画段階 実施段階)

福岡県立福岡工業高等学校長 印
(定時制課程)

48

学校運営計画 (4月)							
学校運営方針	文武両道を校是とし、豊かな人間性と創造的な知性を備え、社会の発展と文化の創造に貢献できる工業人材を育成する。 1. 校訓「質実剛健 自律 創造」を体現する生徒の育成を目指した教育活動を全職員で推進する。 2. 次代を担う工業人材を育成するリーダー校としての責務を果たすべく、ものづくり教育を通して工業高校としての魅力ある学校づくりに邁進する。					評価 (3月)	
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標					
<成果> 卒業生の希望進路（進学・就職）の実現について概ね達成できた。また、職員についても、外部講師を招聘するなどの研修を予定どおり実施し、指導力の向上を図ることができた。	自ら学ぶ力の育成	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善、教科指導力の向上 評価手法の研究推進による指導と評価の一體化 自己学習力育成へ向けた方策の検討					
<課題> 生徒の基礎学力定着を推進する上で、指導と評価の一體化を目指す。そのため、授業改善の研究を継続して行う。同時に、基礎的な知識と技術・技能を身に付けさせ、創造的・実践的な技術者の育成を目指す。	自ら考え行動する力の育成	生徒会執行部を中心とした学校行事の運営 積極的生徒指導による自律心の育成 ネットマナー、いじめ防止等への取組の推進 カウンセリング体制の充実					
	将来を展望し自己実現を図る力の育成	キャリアパスポートの活用によるキャリア発達支援 職員連携強化による組織的進路指導の充実 進路意識の向上を図るガイダンス等関係行事の効果的実施					
	信頼される学校づくり	学校ホームページ等による教育活動の積極的な情報発信 PTAや工友会との協力による中学校との連携強化					
	具体的目標	具体的な方策			評価 (3月)	次年度の主な課題	
教科指導	教科指導力の向上	生徒の活動場面を意識した授業づくりの推奨に努める。 到達目標を定めた授業展開の構築を推進する。			A A	A	
	評価手法の研究推進	生徒の活動を多面的にとらえる評価の実践を推進する。 観点別評価の更なる工夫について適宜情報提供を行う。			B B		
	自己学習力の育成	生徒が自ら取り組むチャレンジ課題を準備し、自己学習力の育成に努める。 家庭でも取り組める課題を準備し、適宜提供できるような体制を構築する。			A A		
生徒指導	生徒会執行部の育成	執行部会議を定期的に行い、行事ごとの意見を出し合う場を設ける。 協調性を身につけさせ、行事の日程・行程の情報共有を図り、責任感の向上に努める。			A A	B	
	生徒の自律心育成	自己を振り返りができるような声掛けを教職員が普段から行う。 生徒が自ら判断する場面を設定することで、自己決定力を育成する。			B C		
	ネットマナー・いじめ防止等の推進	SNS上での被害調査を行うと同時に、専門家の意見を聴く場を設定し啓発活動に努める。 分かる授業の実施により、いじめの未然防止に努める。			A B		
進路指導	生徒のキャリア発達支援	キャリアパスポートを活用してのキャリア意識の涵養を図る。 進路行事等を通じて生徒のキャリア意識を把握し、キャリア育成の向上に活用する。			B B	B	
	組織的進路指導の充実	進路情報の共用化を進めること。 企業や大学・専門学校との連携を深めることにより求人開拓と進学先の確保を進める。			B B		
	進路行事の効果的実施	生徒の実態を見通しての講師等の選択を行う。 行事の事前指導と事後指導の充実をはかる。			B B		
保健・給食指導	カウンセリング体制の充実	生徒が安心して学校生活が送れるように、担任・各分掌との連携し情報共有を図る。 外部専門家と連携を図りながら、生徒の自尊感情が高められるように支援する。			B B	B	
	食を通した自己管理能力の育成	バランスの取れた食事の提供から、食生活の自己管理能力や食への関心を高める。 給食を通じた心の触れ合いや指導から、心身の健康増進を行い、食事マナーを身につけさせる。			B B		
人権教育	人権意識の高揚	人権学習や授業等を通じて生徒の自尊感情を高め、人権尊重の精神の育成に努める。 研修内容を充実させ、職員の人権意識の向上を図る。			A A	A	
	人権学習の充実	人権学習に視聴覚教材等を積極的に取り入れ、わかる授業を推進する。 講演等を通じて、人権を尊重することの重要性を肌で感じさせる。			A A		
研修	計画的な教職員研修の実施	職員研修会を通じて、生徒の学校生活・学習状況に関して職員の共通理解を深める。 教務・人権教育と連携し校内研修会を実施する。			B B	B	
	外部との連携の充実	SC等との連携を増やし、生徒支援体制の確立を図る。 外部講師を招き効果的な職員研修を実施する。			A B		
保護者との連携等	積極的情報発信	ホームページを充実させ、学校の内外から情報をアクセスしやすくする。 福工定安心メールを活用し、積極的に情報を発信する。			B B	B	
	中学校との連携強化	学校案内をより見やすい構成に変更し、定時制の魅力を発信する。 中高連絡会等に参加し、積極的に情報交換を行う。			A B		